※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	4	3	Crown English Communication Ⅲ （三省堂）

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅲの授業では、例えば黙読後にリスニング後に要約など、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の４技能を統合的に扱うアクティビティを行います。積極的にアクティビティに参加し、積極的にコミュニケーションを図りましょう。

・教科書で取り扱うテーマは、難題がほとんどです。英語そのものの学習だけでなく、日常生活、学校生活、社会問題、異文化理解など多種多様のテーマに関する背景知識が必要です。また、授業の内容だけでなく、時事問題にも敏感である必要があります。

・教科書で取り扱う文法事項や言語表現は既出のものもありますが、会話やエッセイなどの表現活動で活用できることを基本としています。

２．学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（４単位）及び「英語会話」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、本校作成の自主教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 ・身近な話題（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。	・コミュニケーション英語Ⅲ、英語会話 ・スピーキングテスト ・課題	・身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、接続詞やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ・慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。	・コミュニケーション英語Ⅲ、英語会話 ・筆記テスト ・課題	・日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。	・コミュニケーション英語Ⅲ、英語会話 ・スピーキングテスト ・課題	・３００語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。 ・簡単なマニュアルや手引書などを理解し、その内容に沿って行動（ゲームや工作など）することができる。	・コミュニケーション英語Ⅲ、英語会話 ・スピーキングテスト ・課題

３．学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４．学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 （１４時間）	過酷な旅を通して数々の名句を詠んだ松尾芭蕉の足跡をたどりながら、その作品を鑑賞して日本の自然美を味わい、また人生において旅の持つ意味について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・松尾芭蕉や江戸時代の旅について理解し、自分の意見や感想を述べる。	・単元内容に興味を持ち、理解を深める。 ・ペアワークやグループワークにおいて、積極的に意見交換をする。	・国際化についての自分の意見を、知っている語句や表現を使って伝えようとしているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出
		「外国語表現の能力」			
		・「翻訳」や「国際化」について、自分の意見を適切に表現する。	・自分の意見をレポートに書いて提出する。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・「旅」や「松尾芭蕉」について、聞き手に伝わるように配慮しながら表現することができるか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		・松尾芭蕉の旅における出来事を把握する。 ・英文全体の要旨を理解する。	・学習した内容に関する小テストや定期テストを行う。 ・要約の課題を行う。	・聞いた内容を正しく理解しているか。 ・松尾芭蕉の旅の途中の心情を正しく理解することができるか。	・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「言語や文化についての知識理解」			
		・自国の文化（日本の文化）について理解することの大切さを学ぶ。	・質問に答える。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・外国語を学ぶことと同時に自国の文化を学び発信することの意義を理解しているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・授業中の発問での回答
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 （１４時間）	「神の手」を持つと言われる医師・天野篤が経験した幾度もの挫折と不断の努力を知り、ひとつのことを極めることの大切さを学び将来の職業について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・将来なりたい職業について話し合い、そのために必要な準備について意見交換もする。	・単元内容に興味を持ち、理解を深める。 ・ペアワークやグループワークにおいて、積極的に意見交換をする。	・将来成りたい職業に関する自分の意見を、知っている語句や表現を使って伝えられるか。 ・将来成りたい職業に関する他者の意見を聞こうとしているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出
		「外国語表現の能力」			
		・天野医師がなぜ「天才」と称されるようになったのかを整理し、自分の意見を適切に表現する。	・自分の意見をレポートに書いて提出する。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・天野医師の考えや思い、天才と称されるようになった理由などについて、聞き手に伝わるように配慮しながら表現することができるか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		・天野医師の経験した苦難の体験を正しく把握する。 ・英文全体の要旨を理解する。	・学習した内容に関する小テストや定期テストを行う。 ・要約の課題を行う。 ・学習した内容に関するリスニングテストを行う。	・聞いた内容を正しく理解しているか。 ・「天才」と称される人の陰の努力の大きさを、正しく理解することができるか。	・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「言語や文化についての知識理解」			
		・天野医師の人生を通して、判断の早さや的確さが経験に裏打ちされることを読み取る。	・英語での質問に答える。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・判断の早さや的確さは経験に裏打ちされていることを読み取ることができるか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・授業中の発問での回答
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 （１４時間）	インスタレーションアートについて学び、アーティストの意図やそれに触れる人々の態度を通して、アートの本質について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・不思議なアートを鑑賞し、その印象について意見交換する。	・単元内容に興味を持ち、理解を深める。 ・ペアワークやグループワークにおいて、積極的に意見交換をする。	・不思議なアートからどんなメッセージを受け取ったか、自分の印象と他者の印象を比較して、感想を述べられるか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出
		「外国語表現の能力」			
		・不思議なアートから受けた自分の印象を適切に表現する。 ・それぞれのアーティストの意図を整理し、そこから共通点を見出す。	・自分の意見をレポートに書いて提出する。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・不思議なアートから受けた自分の印象を正確に伝えようとしているか。 ・それぞれのアーティストの意図を整理し、そこから見出した共通点について的確に表現できる	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

				か。	
		「外国語理解の能力」			
		・インスタレーションアートを描くアーティストが目指していることを把握する。 ・英文全体の要旨を理解する。	・学習した内容に関する小テストや定期テストを行う。 ・要約の課題を行う。 ・学習した内容に関するリスニングテストを行う。	・聞いた内容を正しく理解しているか。 ・インスタレーションアートとそのアーティストが目指していることを、正しく理解することができるか。	・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「言語や文化についての知識理解」			
		・アートの定義について再検討する。	・英語での質問に答える。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・アートの定義について再検討し、自分なりの理解をしているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・授業中の発問での回答
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson4 （１４時間）	**経済状況の違いは人の行動や感情に影響を及ぼすのか。社会心理学実験を通して、世界に広がる経済格差の問題について考える。**	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・世界の経済の仕組みについて自分の意見を話すことができる。	・単元内容に興味を持ち、理解を深める。 ・ペアワークやグループワークにおいて、積極的に意見交換をする。	・経済状態と人間心理についての他者の意見を聞き、それに対する自分の見解を積極的に表現している。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出
		「外国語表現の能力」			
		・　現代社会が抱えている経済格差による人間の倫理観について表現する。	・自分の意見をレポートに書いて提出する。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・聞いた内容を正しく理解しているか。 ・経済格差が引き起こす人間の倫理観に関して感じたことを正しく表現できるか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「言語や文化についての知識理解」			
		・経済格差と倫理観について再検討する。	・英語での質問に答える。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・経済格差や倫理の定義について再検討し、自分なりの理解をしているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・授業中の発問での回答
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson5 （１４時間）	・コンピューターやロボットについての自分の見解や、AI（人工知能）についての知識を話すことができる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・コンピューターやロボットについての自分の見解や、AI（人工知能）についての知識の意見交換することができる。	・単元内容に興味を持ち、理解を深める。 ・ペアワークやグループワークにおいて、積極的に意見交換をする。	・　コンピューターや AI に対する自分の見解を積極的に表現している。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出
		「外国語表現の能力」			
		・　AI が人間にもたらす利点と脅威について表現する。	・自分の意見をレポートに書いて提出する。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・聞いた内容を正しく理解しているか。 ・経済格差が引き起こす人間の倫理観に関する印象を正しく表現できるか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「言語や文化についての知識理解」			
		・AI との共存のために人がすべきことを再検討する。	・英語での質問に答える。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・AI や人類の未来について再検討し、自分なりの理解をしているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・授業中の発問での回答
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 （１４時間）	DDR（武装解除・動員解除・社会復帰）に携わる瀬谷ルミ子の活動を通して、物事を科学的に考えることの意義を知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・平和維持に必要なことや、その仕事に関わることについての自分の考えと他者の考えを交換する。	・単元内容に興味を持ち、理解を深める。 ・ペアワークやグループワークにおいて、積極的に意見交換をする。	・平和維持に必要なことや、その仕事に関わることについての自分の考えと他者の考えを、積極的に交換しているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出
		「外国語表現の能力」			
		・瀬谷さんがどんな思いや理想をもって DDR に携わっているか、心情を理解し	・自分の意見をレポートに書いて提出する。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積	・瀬谷さんがどんな思いや理想をもって DDR に携わっているか、心情を理解した上で表現できて	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出

※令和３年度以前入学生用

		た上で表現する。 ・困難な人の状況に自分を置き換えて、その人が本当に必要なことがなにかを想像した上で表現する。	極的に意見交換をする。	いるか。 ・困難な人の状況に自分を置き換えて、その人が本当に必要なことがなにかを想像した上で表現しているか。	・小テスト ・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		・瀬谷さんが現在の道に進むきっかけとなった出来事を理解する。 ・英文全体の要旨を理解する。	・学習した内容に関する小テストや定期テストを行う。 ・要約の課題を行う。 ・学習した内容に関するリスニングテストを行う。	・聞いた内容を正しく理解しているか。 ・瀬谷さんが現在の道に進むきっかけとなった出来事を正しく理解する。	・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「言語や文化についての知識理解」			
		・社会貢献のあり方について理解する。	・英語での質問に答える。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・社会貢献のあり方について理解しているか。単に「助ける」ことが貢献ではないことを理解しているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・授業中の発問での回答
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 （１４時間）	デイビッド・クリスタルのエッセイを読む。二言語併用の現実や言語の統制・抑圧の事例などを通し、自分自身および他者の母語の大切さを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・母語と外国語、方言と共通語、公用語などの言語にまつわる問題について、自分の意見と他者の意見を交換し合う。	・単元内容に興味を持ち、理解を深める。 ・ペアワークやグループワークにおいて、積極的に意見交換をする。	・方言の禁止や英語の公用語化などについて、自分の意見を発信し、他者の意見を聞こうとしているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出
		「外国語表現の能力」			
		・共通語を用いることの利点を表現する。 ・母語をめぐる過去の歴史や、それがなぜ生死にかかわる問題なのかを表現する。	・自分の意見をレポートに書いて提出する。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・共通語を用いることの利点を、論点を整理して表現できるか。 ・母語をめぐる過去の歴史や、それがなぜ生死にかかわる問題なのかを、正確に表現できるか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		・母語をめぐって血が流された歴史と、その理由を理解する。 ・英文全体の要旨を理解する。	・学習した内容に関する小テストや定期テストを行う。 ・要約の課題を行う。 ・学習した内容に関するリスニングテストを行う。	・聞いた内容を正しく理解しているか。 ・母語をめぐって血が流された歴史と、その理由を正しく理解することができる。	・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「言語や文化についての知識理解」			
		・母語をめぐる問題はアイデンティティーにかかわる問題だと理解する。	・英語での質問に答える。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・母語をめぐる問題はアイデンティティーにかかわる問題だと理解しているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・授業中の発問での回答
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 （１４時間）	リチャード・ドーキンスの科学エッセイを読み、不思議な事象と人々の反応の事例をとおして、物事を科学的に考えることの意義を知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・奇跡、占いなどについて、それを信じたり頼ったりするかなど、自分の見解と他者の見解を交換し合う。	・単元内容に興味を持ち、理解を深める。 ・ペアワークやグループワークにおいて、積極的に意見交換をする。	・超常現象や奇跡について、自分の意見を発信し、他者の意見を聞こうとしているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出
		「外国語表現の能力」			
		・超常現象や奇跡についての自分の見解を表現する。 ・ドーキンスの主張する、ある事象に対する化学的な対処方法をまとめ、表現する。	・自分の意見をレポートに書いて提出する。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・超常現象や奇跡についての自分の見解を、具体的にわかりやすく表現しているか。 ・「すべての超常現象、あるいは奇跡は、嘘か勘違いである」という主張について本文の内容をふまえて表現できているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		・ドーキンスの言う、不思議な出来事に対したときにすべき判断の基準を理解する。 ・英文全体の要旨を理解	・学習した内容に関する小テストや定期テストを行う。 ・要約の課題を行う。 ・学習した内容に関する	・聞いた内容を正しく理解しているか。 ・ドーキンスの言う、不思議な出来事に対したときにすべき判断の基準	・課題の提出 ・小テスト ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

		する。	リスニングテストを行う。	を正確に理解しているか。	
		「言語や文化についての知識理解」			
		・ドーキンスの言う「態度」が科学の発展に寄与してきたことを理解する。	・英語での質問に答える。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・ドーキンスの言う「態度」が科学の発展に寄与してきたことを理解しているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・授業中の発問での回答
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 （１４時間）	世界を襲う水危機について考える。自信が消費している「ヴァーチャルウォーター」について知り、環境保護のあり方を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・Green Revolution とは何かということを自由に発想し、自分の見解と他者の見解を交換し合う。 ・食事の背景にあるヴァーチャルウォーターに対する驚きなどを、他者と共有する。	・単元内容に興味を持ち、理解を深める。 ・ペアワークやグループワークにおいて、積極的に意見交換をする。	・Green Revolution とは何かということを自由に発想し、自分の見解を発信し、他者の見解を聞こうとしているか ・食事の背景にあるヴァーチャルウォーターに対する驚きなどを、他者と共有しようとしているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出
		「外国語表現の能力」			
		・日本が輸入しているヴァーチャルウォーターの出所と量について、理解した上で表現する。 ・食糧危機と水危機の相関関係について、理解した上で表現する。	・自分の意見をレポートに書いて提出する。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・日本が輸入しているヴァーチャルウォーターの出所と量について、整理して表現できるか。 ・食糧危機と水危機の相関関係について、テキストの内容に沿って表現できるか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		・ヴァーチャルウォーターの概念と、その輸出入の利点を把握する。 ・英文全体の要旨を理解する。	・学習した内容に関する小テストや定期テストを行う。 ・要約の課題を行う。 ・学習した内容に関するリスニングテストを行う。	・聞いた内容を正しく理解しているか。 ・ヴァーチャルウォーターの概念と、その輸出入の利点を把握することができるか。	・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「言語や文化についての知識理解」			
		・世界の水危機について理解する。	・英語での質問に答える。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・世界の水危機について理解しているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・授業中の発問での回答
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 （１４時間）	**2016 年 5 月、現職の米大統領として初めて被爆地・広島を訪れた、バラク・オバマ氏によるスピーチを読み、平和の大切さを学ぶ。**	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・第 2 次世界大戦について、自分の考えと他者の考えを交換し合う。 ・スピーチのことばに対する自分の意見と他者の意見を交換し合う。	・単元内容に興味を持ち、理解を深める。 ・ペアワークやグループワークにおいて、積極的に意見交換をする。	・スピーチについて自ら感じたことを、発信し、他者の考えを聞こうとしているか。 ・スピーチの言葉に対する自分の意見を聞こうとしているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出
		「外国語表現の能力」			
		・オバマ氏の平和に対する思いを理解した上で表現する。	・自分の意見をレポートに書いて提出する。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・平和について、自分の意見をその理由とともに表現できるか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査
		「言語や文化についての知識理解」			
		・平和を理解し、人はそれを維持するために何をすべきか考える。	・英語での質問に答える。 ・ペアワークやグループワークで話し合い、積極的に意見交換をする。	・平和を理解し、人はそれをどう維持すべきか考えているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・授業中の発問での回答